



みやぎの多面的機能支払交付金

ぐるみ

高めよう 地域協働の力!

令和4年度 第2号



第9回みやぎのふるさと農美里フォトコンテスト
入賞作品（撮影場所：名取市）

～ Contents ～

- ◆協議会からの情報提供
 - ・全国の多面的機能支払交付金の取組状況
 - ・活動支援研修会の開催
 - ・東北農政局による抽出検査の実施
 - ・多面的機能支払交付金中間評価
- ◆活動組織の事例紹介
 - ・活動事例紹介 七ヶ浜町広域協定運営委員会〔七ヶ浜町〕
 - ・活動事例紹介 中津山2地域保全隊広域協定〔石巻市〕
- ◆お知らせ
 - ・広報誌の作成について

全国の多面的機能支払交付金の取組状況

令和4年8月に農林水産省農村振興局より『令和3年度多面的機能支払交付金の実施状況』が公表されました。

農地維持支払交付金の実施状況は、全国47都道府県の1,447市町村において26,258組織が約231万haの農用地を事業計画に位置づけ取り組んでいます。令和2年度と比較すると対象組織数は1.00倍、認定農用地面積は1.01倍となっています。

また、広域活動組織として1,010組織が活動しており、令和2年度と比較すると19組織増加し、対前年比は1.02倍となっています。

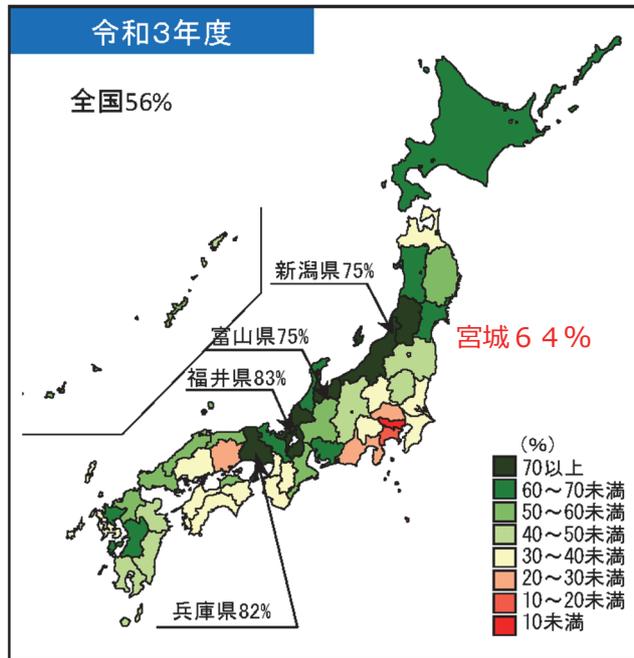
資源向上支払交付金【地域資源の質的向上を図る共同活動】の実施状況は、全国46都道府県の1,309市町村において20,878組織が約206万haの農用地を事業計画に位置づけ取り組んでいます。令和2年度と比較すると、対象組織数は1.00倍、認定農用地面積は1.01倍となっています。また、農村環境保全活動の活動内容別の実施件数は、「景観形成・生活環境保全」の実施が最も多く、次いで「生態系保全」となっています。

資源向上支払交付金【施設の長寿命化のための活動】の実施状況は、全国47都道府県の919市町村において11,175組織が約76万haの農用地を事業計画に位置づけ取り組んでいます。

宮城県内においては、令和2年度と比較すると、認定農用地面積は1.00倍、対象組織数は農地維持支払交付金では1.00倍、資源向上支払交付金【地域資源の質的向上を図る共同活動】では0.99倍、資源向上支払交付金【施設の長寿命化のための活動】では0.89倍となっています。

令和3年度は前年度に比べて取組面積は多少の増加傾向が見られるものの、依然として取組面積の減少が課題として挙げられています。そうした課題への対応として、国や県では活動組織の広域化や多様な人・団体の参画等を推進しています。

【農地維持支払に係るカバー率】



【農地維持支払に係る認定農用地面積推移】

都道府県名	認定農用地面積 (ha)														
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
北海道	257,029	378,722	423,321	425,741	425,577	441,161	442,977	653,489	746,522	771,895	779,889	780,557	777,629	782,482	784,204
青森県	33,319	33,403	33,376	33,348	33,332	34,778	34,678	39,566	43,538	44,457	42,866	43,407	43,532	43,641	44,097
岩手県	41,476	43,905	44,220	44,341	44,245	42,220	43,220	67,324	75,256	77,094	77,767	77,304	76,506	76,472	76,609
宮城県	43,885	43,963	43,949	43,931	42,130	43,865	45,109	61,979	69,378	72,096	73,237	74,267	73,957	73,960	74,311
秋田県	63,359	63,428	63,359	63,319	63,315	68,198	68,452	89,195	94,788	95,997	96,527	97,584	96,626	97,012	97,866
山形県	64,106	65,408	65,365	65,686	65,737	64,393	64,945	80,787	84,196	85,130	85,136	85,306	83,813	83,469	84,037
福島県	36,444	39,398	40,122	40,570	38,149	33,921	35,257	46,479	59,116	62,437	63,289	64,728	64,981	65,475	67,517
東北	282,589	289,505	290,390	291,196	286,909	287,375	291,659	385,331	426,271	437,210	438,821	442,595	439,415	440,029	444,437

令和3年度の全国の実施状況の詳細につきましては、農林水産省HPの多面的機能交付金に係るページに掲載されておりますのでご覧ください。

多面的機能支払に係る活動支援研修会を開催しました

7月27日から8月10日にかけて、宮城県内で多面的機能支払交付金の活動に取り組んでいる活動組織を対象に『多面的機能支払に係る活動支援研修会』を7会場で開催しました。

今年度の研修会は各組織2名（広域組織3名）までとし、座席の間隔等に注意するなど、新型コロナウイルス感染症対策を講じて開催しました。県内982組織中660組織、関係者も含め1,131名のご参加をいただき、本交付金事業の事務や活動が適正に行われるよう制度の改正点や事務手続きのポイント等について説明を行いました。

また、令和2年度より宮城県内の多面的機能支払交付金の調査・研究にご協力をいただいている国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構の研究領域長 遠藤和子様 と上級研究員 芦田敏文様から「多面的機能支払交付金活動による地域資源の管理とコミュニティ活動の活性化」と題し、ご講演をいただきました（一部会場において、参加された皆様には映像にてご覧いただきました）。

そのほか各研修会場において、事務処理に係る負担軽減を目的とした『多面的機能支払交付金に係る事務支援ソフト』を制作している企業にお越しいただき、事務支援ソフト等の実演ブースを設けました。



研修会の様子（大河原会場）



研修会の様子（大崎会場）



実演ブースの様子

～ 活動支援研修のポイント ～

令和4年度からの主な改正点

- ① **活動要件の見直しについて**
多面的機能の増進活動を図る活動項目「60広報活動」を「60広報活動・農的関係人口の拡大」に改正
- ② **事務の簡素化**
電磁的記録により保管が可能なものは、電磁的記録での保管をすることが可能

円滑な組織運営のポイント

- ① 構成員の合意形成をしっかりと行う
- ② 役員の行う事務はお互いに確認し合う
- ③ 日当は参加者本人に受領を確認する

活動における留意事項

- 組織毎に取り組む活動内容が異なるため、活動計画書や各解説をしっかりと確認すること（市町村から認定されていない活動については実施できません）
- 面積の減少等の変更が生じた際は、速やかに市町村に相談し、変更手続等の事務処理を行うこと
- 「地域資源の適切な保全管理のための推進活動」は『資料』や『会議録』を作成し保管すること
- 今年度活動期間の終期を迎える組織は「地域資源保全管理構想」を策定すること
- 作業活動時の安全確保を確実にし、傷害保険や賠償責任保険に必ず加入すること



～ 農研機構 遠藤和子様、芦田敏文様による講演の概要 ～

テーマ：「多面的機能支払交付金活動による地域資源の管理とコミュニティ活動の活性化」

多面的機能支払交付金事業によって取り組まれている水路の泥上げや補修、草刈りといった共同活動は、農業水利施設や農用地等といった担い手だけでは管理の難しい地域資源の維持管理に効果を発揮しており、農業生産基盤を支える欠くことのできない大事な活動です。

また、共同で取り組む活動は地域の繋がりを活発化し、地域が抱える様々な問題を解決できる力に寄与しています。農林水産省では「地域の色々な問題を解決できる力」を「農村協同力」としており、農業者だけではなく、非農業者にも積極的に活動に参加をしていただくことによって「農村協同力」の活発化に繋がるとしています。

しかし、地域資源の維持管理やコミュニティにプラスの効果を持つ活動を実施していく中で、構成員の高齢化や後継者不足、事務作業等に対する負担、役員のなり手がいないという課題が挙げられています。

これらの課題解決に取り組む県内組織の活動事例として、「既存の地域自治体と一体化した活動で、人口を増やすと共に、地域資源の維持管理への参加を促し、若手農家や農業者の地域活動参加のキャリアパス・モデルを構築する取組み」をしている二つの組織と「活動組織をNPO法人化して、独自の活動をできるようにし、外部からの環境保全に興味がある人材を積極的に受け入れている」一つの組織を紹介しています。

多面的機能支払交付金は地域資源の適切な維持管理を支援する事業ですが、事業活動を活性化させることで地域の絆が高まり、地域のことを考え、良くしていこうとする活動を活発化させる好循環を実現することができます。

今後もぜひ誇りをもって、創意工夫して取り組みを継続していただければと思います。



研修会での講演動画については、協議会ホームページより視聴できます！



遠藤和子様によるご講演



芦田敏文様によるご講演



一部会場では動画での講演

東北農政局による抽出検査が実施されました

8月31日に資源向上支払（施設の長寿命化）に係る東北農政局の『抽出検査』が行われました。今回は角田市と村田町の2組織が検査対象となりました。

組織毎に、書類と現地の施工状況について検査が行われ、書類検査では、施設所有者等との工事の事前確認状況、施工業者からの見積りの徴収方法（注文内容や仕様）、契約書の内容、受入確認の方法、財産譲渡の状況、通帳や金銭出納状況、総会の議決や周知状況などについて確認が行われました。

また、今年度の抽出検査では研修会の受講や開催状況についての聞き取りが行われました。

※ 施設の長寿命化に係る活動を行う際には、市町村から認定を受けた活動計画書の活動内容に基づき、所有者または管理者との協議を行い、市町村等からの指導や助言を受け、安全に配慮して施工する必要があります。



現地確認の様子（角田市）



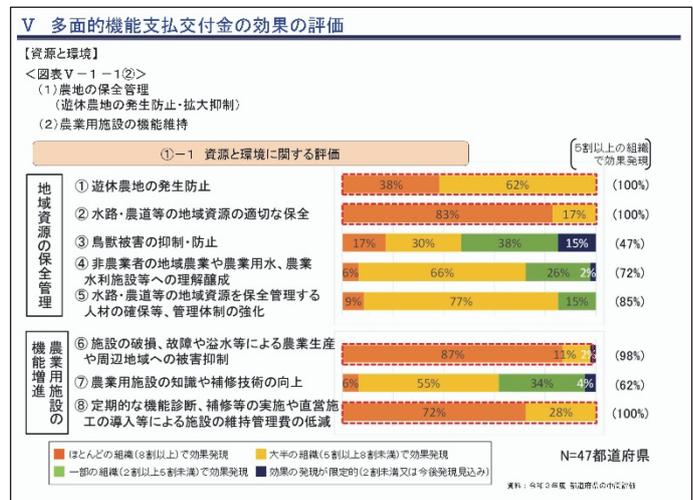
書類確認の様子（村田町）

多面的機能支払交付金の『中間評価』が行われました

農林水産省は、令和元年度の多面的機能支払交付金制度施策の見直しから3年が経過したことから、実施状況、統計データ等による定量的評価とアンケート調査等による定性的評価を組み合わせ、「資源と環境」「社会」「経済」の3つの視点で評価を行い、『中間評価』として取りまとめました。

本中間評価においては、「地域の資源と環境、社会、経済といった観点から効果を発現させているとともに、地域コミュニティの強化や地域農業の構造改革に貢献している」と評価されています。

今後、本交付金の効率的・効果的な執行を含め、①SDGsの観点を踏まえた本交付金の活動の見える化による農的関係人口の創出・拡大、②広域的に保安全管理活動を実施する体制の構築、③制度の簡素化に向けた具体的な方策を引き続き検討の必要性についても記載されています。



◀ 中間評価の詳細につきましては、農林水産省ホームページで公表されております。



活動事例紹介

七ヶ浜町広域協定運営委員会〔七ヶ浜町〕

地区概要	取組面積：120.3ha（田119.4ha，畑0.9ha） 資源量：水路 49.0km 農道 14.2km ため池 16箇所
令和3年度交付金	農地維持支払交付金 3,601千円 資源向上支払（共同活動）交付金 -千円 資源向上支払（施設の長寿命化）交付金 -千円
地域の概要	七ヶ浜町は、面積が13.19km ² と東北で最も小さな自治体です。三方を海、もう一方（西側）は米など舟運のため江戸時代に開削された貞山運河に接しており、まちの四方が水辺に囲まれたような地勢となっています。また、都市近郊のベッドタウンという位置づけでありながら、海岸部の景観や内陸部に広がる水田の風景は、住まいと豊かな環境が調和したまちづくりを印象づけています。そして、明治時代に開かれた東北初の海水浴場「菖蒲田浜」や三大外国人避暑地の一つ「高山」を象徴するように、リゾート感漂うまち並みが本町のポテンシャルとなっています。
取組みの概要	本委員会は、6地区の構成員をもって、水路やため池、法面の草刈り、泥上げ、農道の路面維持など様々な多面的機能の維持活動を展開しています。令和4年11月には、ラジコン草刈機械や防草シート、田んぼダム、安全管理を学ぶ研修会を宮城県仙台地方振興事務所と七ヶ浜町の協力のもと行いました。
取組みによる効果	コンパクトな地域ならではのとも言える「顔の見える関係」が、農業においても築かれています。地区ごとの活動は参加率がとても高く、集まるといつも笑顔が絶えません。広域協定を組織して9年目を迎え、年々まとまりが強くなってきた思いがあります。こういった活動の成果として、水路や農道などが良好に保全されていると実感しています。
今後の課題	活動そのものは積極的になっているものの、高齢化が進展することへの不安は最大の課題となっています。本町における水田の大区画化率は、令和3年度実績で83%と県内で最も高い整備状況ですが、担い手の確保を進めるためにも、作業の効率化や安全確保をより一層推進する必要があります。ラジコン草刈機械実演研修の場では、世代を超え、共にアンテナを高くしながら情報を得ることの意義を参加者全員が認識したところです。
その他	東日本大震災において本町は、全域の36.4%もの津波浸水被害を受けました。水田に至っては、実に98.9%が浸水しました。この時、多くの人命、家屋を失いましたが、水田や畑など我々の農地が更なる被害拡大を防いでくれたのです。瓦礫で埋め尽くされた田んぼは、除塩と大区画化を行い、再び立派な稲穂を実らせることができました。本町にとっての農地保全は、防災・減災、そして国土強靱化のためにも大変重要な意味を持ちます。未来永劫この誇るべき環境を伝えていきたいと考えています。



草刈作業前の集合写真



用水路草刈作業



用水路泥上清掃作業



ラジコン草刈機実演研修



田んぼダム研修

農地の津波浸水被害
(東日本大震災2日後)

中津山2地域保全隊広域協定〔石巻市〕

地区概要	取組面積：300.7ha（田300.7ha） 資源量：水路67.9km 農道16.6km ため池一箇所						
令和3年度交付金	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">農地維持支払交付金</td> <td style="text-align: right;">4,510千円</td> </tr> <tr> <td>資源向上支払（共同活動）交付金</td> <td style="text-align: right;">3,608千円</td> </tr> <tr> <td>資源向上支払（施設の長寿命化）交付金</td> <td style="text-align: right;">-千円</td> </tr> </table>	農地維持支払交付金	4,510千円	資源向上支払（共同活動）交付金	3,608千円	資源向上支払（施設の長寿命化）交付金	-千円
農地維持支払交付金	4,510千円						
資源向上支払（共同活動）交付金	3,608千円						
資源向上支払（施設の長寿命化）交付金	-千円						
地域の概要	<p>本地域は、北上川と旧北上川に囲まれた輪中地帯の中流部に位置した水田地帯となっています。地域内の水田は、ほ場整備事業により大区画ほ場に整備済みで、水稻だけでなく麦・大豆といった畑作物も栽培されており、1年を通じて四季折々の表情を見ることができます。交通面では、三陸自動車道の桃生豊里インターの玄関口に位置し、居住・工場誘致等にも適した地域となっています。</p>						
取組みの概要	<p>当保全隊は、寺崎・中津山・城内地区の3つの集落からなる広域協定組織で、農地維持活動では、泥浚・水路農道の除草・敷砂利に取り組み、資源向上活動では、植栽・清掃・休耕地の除草伐採・施設の点検・異常気象時の巡視等を行っています。</p> <p>農地維持活動は、主に農業者が主体となり活動を行っていますが、資源向上活動では非農家の方も加わり、保全隊活動を通じて地区のコミュニケーションの向上にも寄与しています。</p>						
取組みによる効果	<p>「継続は力なり」と聞きます。</p> <p>平成19年から中津山2地域保全隊としての活動に取組み、事業計画も通年事業として地域の方々にも認識され、事業への参加呼びかけ意義等を説明するまでも無く、非農家の一部の方々からも「除草作業を手伝いましょうか」と積極的に参加していただいております。</p> <p>また、定期的に事業を行うことにより、荒れた状態での作業負担が軽減され、安全管理面、環境管理面等で地区の顔が見える活動になりました。</p>						
今後の課題	<p>参加者の高齢化、農家の後継者が居ない状態が表面化し、いつまで事業を行えるか、また、事業を継続する為にはどのような工夫・対策があるのか、お知恵をお借りしたい現状です。</p> <p>また、役員数9名で活動の運営・管理等を行っていますが、役員数名が複数年携わり、リーダーとして運営しているため、一部の役員に事務負担が覆い被さっている現状があります。</p>						



水路の泥上



水路法面等の除草



農道の敷砂利



植栽活動



役員会議



広報活動 — 啓発看板（活動PR）

